

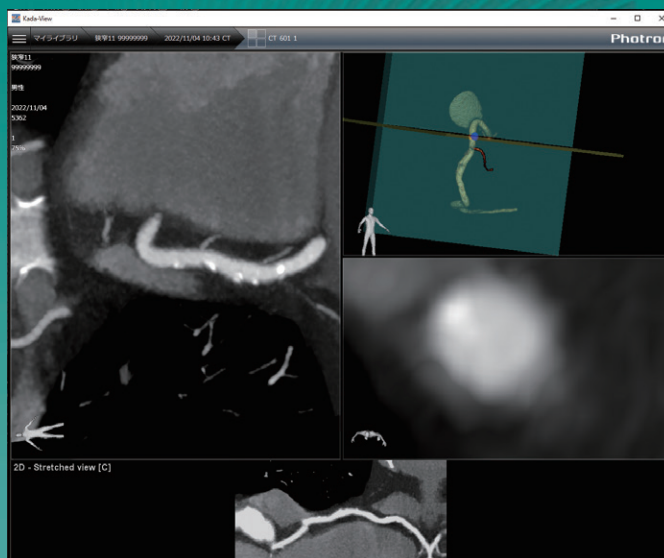
フォトン M&E ソリューションズ

<https://www.photronmandesolutions.co.jp/medical/>

新たな価値を生み出す動画ネットワークシステム

[主な紹介製品]

- マルチモダリティ対応DICOMビューワ「Kada-View」
- 透視像収録システム「Kada-Rec」
- 術場映像収録配信システム「Kada-Live」
- 遠隔映像配信システム「Kada-Stream」
- 循環器部門向けレポートシステム「Kada-Report」
- 高速DICOM動画サーバ「Kada-Serve」



マルチモダリティ対応DICOMビューワ「Kada-View」

透視像収録システム「Kada-Rec」、
術場映像収録配信システム「Kada-Live」

マルチモダリティ対応DICOMビューワ 「Kada-View」

マルチモダリティ対応DICOM動画ビューワ「Kada-View」は、ユーザビリティに優れた独自のGUIを搭載し、エコー計測も充実している。新たに搭載したCT ViewerではSliding Slab MIP機能により冠動脈を迅速かつ簡単に連続して観察することができる。Slab MIP画像のSlabの位置、向き、厚さをマウス操作で調整し、ボリュームレンダリング画像と重ね合わせて表示することで観察領域の把握を容易にする。

透視像収録システム

「Kada-Rec」

術場映像収録配信システム

「Kada-Live」

バージョンアップした透視像収録シ

ステム「Kada-Rec」は、従来の透視像収録の他に、IPカメラ映像も同時に収録できるようになり、オペ室/カテ室の術者映像、嚥下造影、内視鏡カメラ、生体モニターなどの映像収録システムとして幅広い活用が期待できる。「Kada-Rec」で収録した映像は、新製品の術場映像収録配信システム「Kada-Live」と連携することで院内にライブ配信し、どこからでも術者と会話、チャット機能で症例検討できる。独自の映像配信機能により電子カルテやPACSと連携し参照も可能。

遠隔映像配信システム

「Kada-Stream」

遠隔映像配信システム「Kada-Stream」は、カテ室内で発生する様々な映像信号を遠隔地へ配信できるシステムである。最大8入力の映像をタッチパネルで柔軟にレイアウトを選択で

き、ビデオ会議システムを活用した相互コミュニケーションが可能。カテ室と遠隔地をリアルタイムに繋いだ双方向のやり取りを実現する。

トータルシステム

「Kada-Solution」

循環器部門向けレポートシステム「Kada-Report」は、血管造影検査用/治療用カテフォームと生理検査用エコーフォームを標準実装している他、植込みデバイス遠隔モニタリング連携オプションにより、遠隔モニタリングデータをKada-Reportに取り込み、電子カルテとの連携も実現。

「3mensio Structural Heart」や「CAAS」など最新の解析アプリケーションを含む、放射線・循環器部門、脳神経血管内治療部門向け動画ネットワークをコアとしたトータルシステム「Kada-Solution」を紹介する。